

## 令和5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市都市公園（大畑中央公園）	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25番地1
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること</li> <li>・大畑中央公園の施設管理維持に関すること</li> <li>・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること</li> <li>・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること</li> <li>・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること</li> </ul>	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区分	年間計画額①	上半期実績額②	増減(②-①)
収入合計(A)	52,323	26,139	▲26,184
うち利用料金額	2,210	1,062	▲1,148
うち指定管理料	50,023	25,013	▲25,010
支出合計(B)	52,323	23,613	▲28,710
うち人件費	24,070	11,690	▲12,380
収支差(A-B)	0	2,526	2,526
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>○収入について</p> <p>計画との増減については、「2. 収支の状況」及び「3. 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>収入合計のうち利用料金額は、計画額2,210,000円に対し1,062,000円の収入があり、前年同時期に比べると17,000円ほどの減少となっている。</p> <p>施設ごとの利用状況等は、まず、野球場については、利用者数は、計画人数2,400人に対して1,876人の利用があり進捗率は78%、利用料金収入は、計画額190,000円に対して97,470円の収入、進捗率は51%となった。前年同時期と比べると利用者数は増加したが、利用料金収入は9,800円減少した。これは、前年同期と比較し、野球場の大会利用は前年同様だった一方、一般利用が減少したことが要因となっている。</p> <p>次に、庭球場については、利用者数は、計画人数600人に対して54人の利</p>		

	<p>用があり進捗率は 9%、利用料金収入は、計画額 70,000 円に対して 7,960 円の収入、進捗率は 11%となり、前年同時期と比べると利用者数及び利用料金収入ともに減少した。減少理由は、一般及び児童・生徒とも利用が大きく減少したことによるものである。</p> <p>次に、陸上競技場については、利用者数は、計画人数 4,300 人に対して 3,549 人の利用があり進捗率は 83%、利用料金収入は、計画額 150,000 円に対して 116,070 円の収入、進捗率は 77%となり、前年同時期と比べると利用者数は 359 人増加、利用料金収入 16,530 円増加した。増加の理由としては、サッカーの大会件数は前年同期同様だったものの、サッカーリーグ戦の県大会が行われたことが主な要因となっている。</p> <p>最後に、プール施設については、利用者数は、計画人数 9,000 人に対して 5,016 人の利用があり進捗率は 56%、利用料金収入は、計画額 1,800,000 円に対して 840,080 円の収入、進捗率は 47%となり、前年同時期と比べると利用者数は 253 人増加、利用料金収入は 630 円減少した。区分別の利用状況は、シニアの利用者数は減少したものの、幼児、児童・生徒及び一般の利用者数は増加している。回数券の売上枚数は、前年と比べると減少したが、夏休み期間中の猛暑により 1 回券利用者が増加している。</p> <p><b>○支出について</b></p> <p>事業経費のうち、燃料費については、燃料単価の高騰が続くものの、今夏は熱中症アラートが続いたこともあり、燃料使用量については少なかった。電気料については、電力会社による夏の節電アクションに参加して、待機電力を抑制する等の節電意識を高めたことにより、電気使用量については、抑えることができた。</p> <p>施設の維持管理については、施設設備の安全性を保つため、点検を計画的に、適切に実施したことから、修繕費を抑制できた。施設の老朽化が進む中、今後も機械設備の経年に伴う更新時期も考慮しつつ、施設・設備の維持管理に常に注視したい。</p>
--	--

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	野 球 場	2, 4 0 0	1, 8 7 6	▲ 5 2 4
	庭 球 場	6 0 0	5 4	▲ 5 4 6
	陸上競技場	4, 3 0 0	3, 5 4 9	▲ 7 5 1
	プ ー ル	9, 0 0 0	5, 0 1 6	▲ 3, 9 8 4

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにした。

今期の意見箱等による利用者の声はなかったが、7月下旬から3週の期間に利用者アンケートを実施した。好意的な回答が多かったが、少数の厳しい意見を頂いたことから、施設管理者側の真意を丁寧に説明し理解と協力を得られるよう、速やかに、事実に基づき、誠意を持って対応することを徹底した。

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	769	701	377
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング教室	27	29	44
スポーツ振興事業・グラウンド・ゴルフ教室	82	0	57
スポーツ振興事業・軟式野球大会	672	99	166

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A(優良)：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B(適正)：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C(要改善)：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

事業経営については、指定管理者として行政の事務代行であることを念頭に住民サービスに寄与することを徹底した。むつ市から委任を受けた事務であることから、条例及び規則の範囲内で事業計画に基づき業務を遂行するとともに、利用者の状況及び統計等は、正確に把握することを徹底した。また、指定管理者として柔軟な発想による利用者サービスの向上、施設の活性化を図るとともに、適正管理による経費の抑制をしつつ、指定管理者の基本とすべき役割を理解して業務にあたっ

た。

施設運営にあたっては、今夏の猛暑日が続く中において、熱中症対策を講じて運営をした。テントを設営して日陰の退避場所を設けたほか、利用者へこまめな給水と呼びかけ、保冷剤や経口補水飲料を常備していざというときに備えた。

また、陸上競技場の芝生は、7月中旬から猛暑日が多く、降雨がない日々が続いたため、状態が悪化した。日差しの弱まる夕方に適時に散水をしたが、8月中の熱中症アラートが続く厳しい環境の中では新しい芽が育たなかった。9月に入り、適度の降雨があり芝生の成長が回復し緑が少しずつ戻ってきた。7月から8月にかけての散水量は194 m<sup>3</sup>であり、水道料金は例年より多い55,270円となった。

自主事業については、利用促進と施設の活性化を図るために、積極的に実施した。

5月から実施した水泳教室は、水泳の競技人口増加とともに健康増進につながるきっかけづくりとしての役割を主に果たしている。また、7月には着衣水泳教室を実施した。防災教育としての側面があり、参加者に水難への備えについて伝えることができたと考察している。

ノルディックウォーキング教室は、5月、7月、9月に実施した。5月は大畑中央公園内で実施。7月は大畑中央公園からむつ市下北自然の家まで、峠を越えて歩くルートとし、途中の夏のそよ風や木々を楽しむ約8kmの道のりを踏破した。9月には、紅葉には早いですが、大畑中央公園から薬研橋駐車帯まで、溪流のささやきや森林のマイナスイオンを感じることができるルートの約8kmの道のりを踏破した。薬研道は初めてのコースだったことから、事前に実地踏査を行い、危険箇所や歩行時間等の確認を行うとともに、当日は職員6人体制で安全配慮に努めた。

グラウンド・ゴルフ教室は、早期の開催を望む声があったことから5月から実施した。今期で3年目となるが参加者の評判も良く、継続して参加している方々は、個々に用具を揃えている。また、講師を依頼している、むつグラウンド・ゴルフ協会では、協会独自の施設利用もあり、施設利用の増加にもつながった。10月には、陸上競技場及び野球場を会場として「むつ市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会」が開催されるまでになった。

軟式野球大会においては、今期よりむつ市内からチームを募り、熟年リーグ（満40歳以上、満60歳未満）を開催した。大会は、5月から10月の期間で、4チームによる総当たり2回戦（6節全12試合）で実施している。新たな開催に伴い利用者数増加とともに施設の活性化に寄与することができた。

また、少年軟式野球大会は、第5回あさひな杯を開催した。2日間のトーナメント戦を計画したが、大会日が猛暑による天候不順だったことから、児童の安全を最優先として、1日目はグラウンドを照りつける酷暑のため、第1試合を終えた段階で中止とし、残りの1回戦3試合は2日目に変更した。2日目は1時間早く試合を開始したこともあり前日より涼しい中で熱戦が繰り広げられ、第2試合まで順調に進めることができたが、第3試合中に雷鳴が聞こえたことから、天候回復までに時間を要することもあり試合途中で大会を中止した。

天候に伴う理由から止む無く中止の判断をすることになったものの、関係者のご協力があり児童の安全を最優先にした運営ができた。また、この大会は、青森県軟式野球連盟むつ支部及び熟年野球大会選抜の皆様方からの協力を受けて運営することができた。さらには、大畑町体育協会様は共催という形で大きな支援してくれた。

職員の教育訓練については、利用者の安全を最優先に考えた施設運営と施設の維持管理を適正に行う観点から、施設開設前と夏休み繁忙期前に研修を2回実施したほか、事業計画にある消防訓練、救助訓練も計画どおり実施し、職員の資質向上とサービス向上の意識を高める取組みを行った。

今後も定期的に教育・訓練を実施することとしており、併せて、これまで当施設を管理してきた経験も活かしながら、安全で効率的な施設運営を行い、より高い成果が出るように努力する所存である。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用者サービスに関しては、質の高いサービスを提供しており、普段からの職員指導や訓練の成果であると考えられるため今後も継続していただきたい。一方で、多目的広場など普段手入れが行き届かないような場所で園路が雨の日に滑りやすくなっているなどの市民意見があったため、施設の老朽化を踏まえ、業務がルーティーン化することなく、隅々まで管理できるよう業務の見直しなど行っていただきたい。

自主事業に関しては、公園の特性を活かした事業を実施し、施設のPRをすることで新規利用者の獲得、定期利用者の増加につなげており、コロナ前の水準に戻りつつあることは評価できるので、下半期では、雪などを活かした事業などを提供していただき、利用者増加や健康増進に努めていただきたい。

昨今、大畑海水浴場が監視員不足により開設できない状況が続いているが、海開き前の泳ぐ練習や海にはないプールの良さなどをPRし、来年夏季には利用者増加に繋げていただきたい。